

2010年
12月号

Mini-WAN

～三河港湾事務所だより～



Mini-WANとは

港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

☆CONTENTS☆

■最近のトピックス

- 衣浦中央ふ頭西改良工事始まりました
- 第6回みなとまちづくり研究会が開催されました ○所長講演報告（美浜町職員研修会）
- 530運動 ○ウォームピズにご協力ください

■お知らせ 平成23年三河港潮位表をホームページにアップしました

■編集後記



☆最近のトピックス☆

○衣浦中央ふ頭西改良工事始まりました

衣浦港中央ふ頭を半田緑地公園から南を見ると、海に張り出した岸壁が見えます。この岸壁は、昭和54年に栈橋部分が完成し、半田市及びその周辺における海上物流の拠点として使用されてきました。

しかし、完成後約30年が経過し、施設の老朽化に伴う機能の低下が判明したため、今年度より安全性の確保・施設延命化を目的とした改良を実施しています。

今年度は、先端部から約50m分の栈橋を撤去する作業を実施しています。今回の改良では、老朽化した栈橋の鋼管杭をそのまま使用することから、栈橋部のコンクリートを「ワイヤーソーイング」という機械を使用して切断しています。これは、硬質の刃の付いたワイヤーを切断部分に廻し、引張ることでコンクリートを切断する工法です。また、切断したコンクリートの塊は、大型のクローラークレーンで吊上げて栈橋の後ろ側へ運搬し、ダンプトラックで運搬できるよう小さく取壊します。

工事にあたっては、船舶の離接岸や荷役作業に注意すると共に、安全に気をつけながら作業を進めてまいります。



改良工事位置図



クローラークレーン



ワイヤーソーイング



栈橋撤去作業

○第6回みなとまちづくり研究会が開催されました



会場の様子

11月13日、第6回「みなとまちづくり研究会」（ウオーターフロント開発協会主催）が愛媛県八幡浜（やわたはま）市で開催されました。

全国に展開している「みなとオアシス」相互の情報交換を行い、更なる発展を目指し、みなとまちづくりを進めることを目的としたものです。

第1部では、みなとオアシス全国協議会総会が行われ、事業報告、事業計画が承認された後、次回は神戸港で開催されることが決まりました。

第2部では、在日中国人ジャーナリストの莫 邦富（モウバンフ）氏により、「観光業は中国人の心を掴めるか」という題目で、どのように観光客の心をつかむ観光ができるかという講演が行なわれ、

多くの方が耳を傾けられていました。

その後、新井洋一教授（日本大学）がコメンテーターを務めた座談会で「みなとまちづくりについて」をテーマに全国の「みなとオアシス」代表者から様々な活動事例が紹介されました。また、良い面だけではなくそれぞれの抱えている課題についても情報交換がされました。

翌日の11月14日には、八幡浜市内新町ドームで催された全国みなとオアシス物産展を視察しました。全国の「みなとオアシス」からの特産品が並び、特に青森県大間町のマグロには大行列ができ、大盛況でした。

「八幡濱まちなみミュージアム」という訪れた人たちが歩いてまわっても楽しむための取り組みも視察しました。古来からゆかりのある施設には、その施設の解説文が書かれたサインボードが設置されていますので、地図を片手に散策することも可能です。

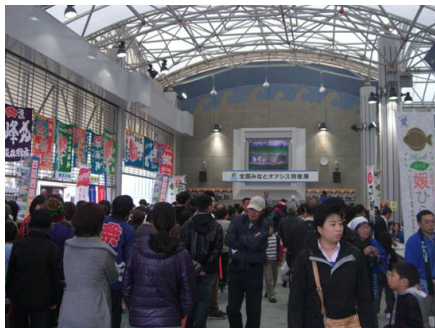
八幡浜港みなとまちづくり協議会から、「港弁」全国化プロジェクトの提言がなされました。これは、駅弁・空弁の港版と言えるものです。まずは八幡浜の「港弁」を製作して全国の「みなとオアシス」へ展開していくプロジェクトです。

八幡浜では魚市場で大量に水揚げされるハモを使った弁当が開発中です。皆様が食するのもそう遠くないことと思います。

※「みなとオアシス」とは：市民参画による地域交流拠点を目指すもので、平成22年11月13日現在、全国に53箇所点在しております。東海・東南海地震への対応が求められる中部地方においては、災害時の生活支援機能も目的に付加しております。



八幡浜の「港弁」



にぎわう全国みなとオアシス物産展

○所長講演報告(美浜町職員研修会)

11月24日、美浜町役場職員を対象とした職員研修が開催され、当事務所平井所長が講師として招待を受け「衣浦港ってあんなどこ、セントレアってこんななどこ」と題し、衣浦港のおかれている現況、セントレアと国や地元との関わりなどについて講演を行いました。

美浜町職員研修は、美浜町職員のスキルアップのため、特に美浜町の外で起こっている事を知見として得ることを目的として定期的に外部講師を招いて開催されているものです。

当日も100人を越える職員のみなさんが参加していました。普段、公共事業と関わりのない職員も多数参加されており、写真をご覧頂ければおわかりのとおり女性職員も多く、みなさん普段接することのない情報に積極的に耳を傾けていた様子でした。

現在、三河港湾事務所では地域同士の連携に重点に置き、地元との情報交換や意見収集等、積極的に行なっておりますが、今回の講演もそれらの一環として、衣浦港をより一層活発にしてくれるものと考えております。



会場の様子

○530運動

11月9日、当事務所ではゴミゼロ運動の一環として、お昼休みを利用し、事務所周辺や付近の公園の清掃活動を行いました。短い時間ではありましたが、たくさんのゴミが回収されました。

今回特に多かったのは、ペットボトルや雑誌、コンビニ弁当の空き容器などで、公園に訪れる人のマナーの悪さを感じました。



いろいろな種類のゴミが集められました



ゴミ拾いの様子

私達も自分で出したゴミは自分で持ち帰ることを心がけるとともに、これからもこの活動を通じて、美しいまちづくりに協力していきたいです。

☆お知らせ☆

WARMBIZ



ウォームビズにご協力ください

中部地方整備局では、「地域温暖化防止及び省エネルギーへの取り組み」として、11月1日から3月31日までウォームビズを実施しています。

ウォームビズとは、暖房に必要なエネルギー使用量を削減し、地球温暖化を防止することを目的とし、過剰な暖房を抑制する呼びかけです。暖房の設定温度は19℃を目安とし、職員は、各自衣服等で温度の調節を工夫しております。その他年間通しての取組みとして、昼休みや長時間席を外す際の照明の消灯や、コピー機などOA機器の電源の切断などを行っています。

公用車は、「やさしい発進」や「アイドリングストップ」などエコドライブに努めています。

☆お知らせ☆

平成23年三河港潮位表をホームページにアップしました



潮位表には三河港における満潮と干潮の時刻と潮位、毎正時ごとの潮位が掲載されています。

台風による高潮や津波などの異常な気象の影響は考慮していないため、時には相当の偏差を現わすことがあります。釣いや潮干狩り等の参考にしていただければと思います。是非ご活用下さい。

三河港湾事務所ホームページはこちら <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

☆編集後記☆

暖かい日が多かったため秋があっという間に過ぎ、冬が訪れてきました。日差しは暖かくても、三河港を吹き抜ける風は肌を刺すような冷たさです。そんな三河港でも天気がよく空気の澄んだ日には富士山がくっきりと見えるそうです。天気の良い日に高いところから東の方を眺めてはいかがでしょうか。

2010年も残すところあとわずかになりました。「来年のことをいうと鬼が笑う」といいますが、来年は干支のウサギにあやかって飛躍の年にしたいものです。

これから寒さもより厳しくなる時期になります。また年末年始には様々な行事がありますが、体調には十分注意して過ごしましょう。

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル



おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間※/9:00~12:00と13:00~17:00(土・日・祝祭日を除く)

※一部の地域を除きます。



国土交通省中部地方整備局

三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

E-mail info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp

●全国どこからでも、この電話番号で最寄りの『海とみなとの相談窓口』につながります。